

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

長月 月次祭挨拶

サルートン皆様こんにちは
キーエルヴィーフアルタス
ご機嫌いかがでしょうか。

日増しに、涼しくなっ
てきたが、まだ暑い日が続
きます。

長月月次祭に、大勢の方
が、ご参拝して頂き誠に
ありがとうございます。

この月は、長寿の方達を
祝い、祝詞を奏上させて
頂きました。

亀岡では、エスペラント
普及会創立百周年記念行
事が開催されており、瓜
生さん・畠山さん・森明
人さんが参加されています。

東海教区では、八月二十六
日・二十七日と三河本苑
で、葬祭研修会が、本部
霊祭課長出口飛鳥様を講
師として開催され、名古
屋からは三名の方が参
加されました。真新し

いご神前で諸道具の飾り
付けを終えて、装束の着
付けをし、講師がお見え
になるときに講師がお見
えになりました。

招魂式の修祓では、講
師の方々の意見が分か
れており、統一した動作
がなく本部としての統一
した見解をお願い致し
ました。

八月末、聖地では神集
祭が執り行われました。
二十七日、綾部に着き、
松香館でくつろいでいた
ら名古屋から三名の方
も参拝にお見えになり
ました。

神集祭は旧暦七月六日
から七月十二日まで、
今年八月二十一日初日
で二十七日が終日です。

この期間は神々様が地
の高原に神集われて一
か年中の経綸について
神議せらるる大切な
神事である、一般の願
いは決してしてはなら
ないとお示しになって
います。

三十一日には、農業セ
ンター跡地の入札が有
り大本が無事に落札致
しました。

九月三日の聖地月次祭
では、教主様の御礼の
文章が本部長から代読
があり、その文章をお
話しいたしますが、この
文面の掲載は印刷致し
ません。

この二十三日・二十四
日は名古屋分苑で祭式
講習会と葬祭研修会を
併せて行います。既に
東海教区の方達より参
加申し込みがあります。
まだ申込をされていない
方は本日に記入をお願
いいたします。

十月に入れば、直心会
の聖地献勞と、お松の
植樹場所の草苺があり
ます。

秋の大祭は城北分所
が、執行委員長が副が
半田会合所となっております。
本部講師として山田
歌様がお見えになり
ます。



十八日は、霊界物語全
国一斉拝読会があります。
月末では、誠心会聖地
献勞があります。今回
は、金竜海の島々のお
宮様の清掃は勿論

ですが、島の草苺を行
います。島には、スギ
ナが根を張り遠くから
は何気ないようですが、
現場に行けば厄介なほ
ど、根を張っています。
明日は、三重香良洲神
社の中遷座祭が夜二十
時から執行され、教主
様がご臨席されます。
教主様は十九時過ぎに
は、ホテルを出発され
十九時半迄には、到着
され最後まで祭典に参
列されます。

祭典は、お香良洲神
社の方達で行われ、ど
の位時間が要するの
か分かりませんが、祭
典の途中で帰宅され
ても良いとの事です。
本日の参拝誠にあり
がとうございました。

コーランダンコン

行事報告

●月始祭

九月二日(土)

- 参拝者 二十二名
- 齋主 五十川 松子
- 祭員 森 テル子
- 祭員 畠山 亜美
- 進行 高嶋 フミ子

●月次祭・長寿感謝祭

九月十七日(日)

- 参拝者 三十五名
- 齋主 飯田 和彦
- 祭員 妹尾 正治
- 祭員 堀 健太郎
- 祭員 仙頭 志音
- 裏方 青山 将士
- 典礼長 小林 清人
- 伶人 飯田 直美
- 伶人 澤田 淳
- 伶人 長谷川 美枝
- 進行 菱川 義英



祭典後、長寿の皆様には直心会より記念品が授与された。おめでとございます。

米寿

城北分所

山田 頼子

弥富支部

加祥阿佐子

喜寿

神ノ倉分所

山田 謙三

神ノ倉分所

中野 幸夫

神ノ倉分所

石原美代子

神ノ倉分所

関原 教善

神ノ倉分所

佐藤 桂子

名古屋東支部

土田 泰子

弥富支部

夏目千恵子

北一支部

森 順子

さわやか支部

天野 静子

さわやか支部

鈴木 克彦

一宮支部

立元 修

一宮支部

櫻井 朝子

分苑直属

森 悦子



●誠心会活動報告

誠心会長 畠山 茂

九月十七日(日) エスペラント普及会創立百周年記念行事が行われた亀岡天恩郷に於いて愛善歌の合唱に参加した。EPA創立百周年記念祭典、大本エスペラント歌祭り、記念講話と続き懇親晩餐会の席にて各部会の合唱の中「DORON」黄金を誠心会員で合唱させて頂き有意義な一日を過ごさせて頂きました。

参加者 瓜生、畠山

※歌祭りに堀さんご夫妻がエスペラントで献詠歌を投稿されました。

●祭式講習会・葬祭研修会

九月二十三・二十四日に本部より出口拓生先生を講師にお迎えして開催された。岐阜主会五名・三重主会三名を含む二十五名が参加した。祭式講習と葬祭研修のグループに分かれて、それぞれ熱心に実習し、四名が実技試験に臨んだ。



言葉の力 その⑩

特任宣伝使 妹尾 正治

「言葉の力」シリーズも十二回となり、そろそろ完結です。これまで色々な人の言葉を引用してきましたが、締めは「逆も真なり」を書こうと思いました。

ことわざに『口は災いのもと』『沈黙は金』とあります、どんな名言・金言も身に着いた(上面だけでない)言葉でないと、却って災いになってしまうのではないのでしょうか。

東北の大震災の後、被災された方に『頑張ってください』と言う言葉は禁句だと聞きました。つい口先から出てしまいうる言葉ですが、被災された方々

の心情に心の底から寄り添えない限り思いは伝わらないのだと思います。

「目は口程に物を言う」・・・温かい眼差しと黙って寄り添ってあげることの方が言葉より、より一層相手の方の心の支えになることがあります。

寡黙が良くて饒舌がいけない訳ではありませんが私たちが何気なく発する言葉にも常に責任が付いていると云うことを自覚しなくてははいけないと思います。

今回のシリーズを総括してみると、世界平和を望む私達に求められているのは『言心行の一致』だと改めて悟らせて頂きました。

行事予定

十月十五日(日)

秋季大祭・秋季合同慰霊祭

午前十時より

十月十八日(水)

霊界物語一斉拝読会

十月二十八・二十九日(土・日)

誠心会献労奉仕(綾部)

十一月四日(土)

月始祭・開祖大祭遙拝祭

午後一時半より



した。

私もまだまだ未熟で人様に言葉投げかけられるまでの域に達してはませんが、霊を磨きつつ、これからも心に響く言葉を探していこうと思います。【完】